

2022年4月14日

各位

上場会社名：株式会社インタートレード
 代表者名：代表取締役社長 西本 一也
 (コード番号：3747 東証スタンダード)
 本社所在地：東京都中央区新川一丁目17番21号
 問い合わせ：業務執行役員 小笠原 功二
 電話番号：03-4540-3002
 U R L：https://www.itrade.co.jp/

ITはなびらたけ研究の論文掲載に関するお知らせ

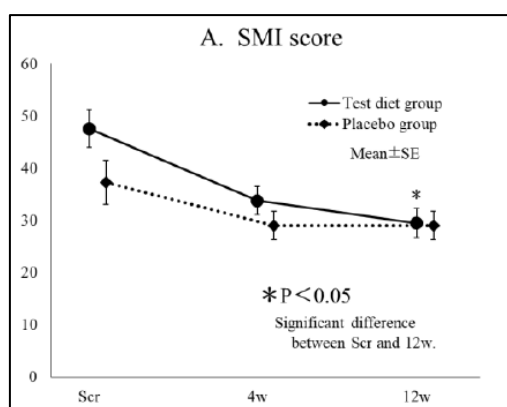
当社の連結子会社である株式会社インタートレードヘルスケア(以下、インタートレードヘルスケア)は、2012年より機能性キノコである ハナビラタケ事業を開始、2014年には産学官共同研究において「ITはなびらたけ」が有すると思われるサイレント型エストロゲン作用^{※1}を報告しました。

その後も継続して研究を進めておりましたが、この度、横浜薬科大学との共同研究において「更年期^{※2}女性に対するヒト試験」の結果から、「**ITはなびらたけの連続摂取は更年期女性の不快な症状を緩和する事**」を実証しました。

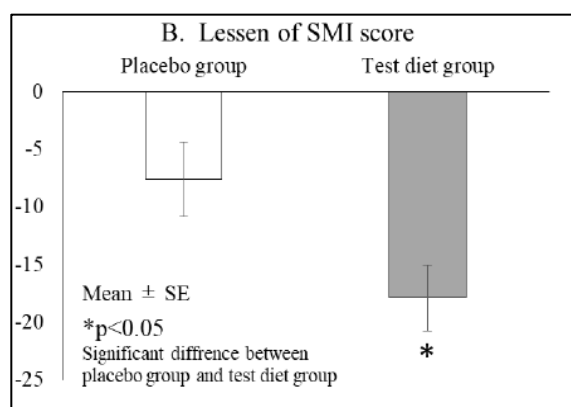
この結果は学術誌「応用薬理」102巻1-2号(Index:臨床薬理)に「女性の更年期における不快症状を緩和するはなびらたけ(Sparassis crispa)の有効性及び安全性を評価する二重盲検、プラセボ対照、ランダム化ヒト試験」(Corresponding author:横浜薬科大学総合健康メディカルセンター代表 医博 渡邊泰雄)として論文掲載されました。

本試験においては評価法として、一般更年期外来でも使用されているでは簡略更年期指数(以下、SMI)を指標としていますが、連続摂取12週間後の結果を比較すると、ITはなびらたけ群の方がプラセボ群に比べSMIスコアの減少幅に統計学的な有意差が認められました。

これはITはなびらたけの摂取により、SMIが改善したことを示しており、更年期女性の不快な症状を緩和する事が示唆されたこととなります。



SMIスコアの時系列変化



SMIスコアの変化量比較

近年、女性の社会進出を後押しする目的からも、女性が抱える健康の課題をテクノロジーもしくはそれ以外の方法で解決する「フェムテック」や「フェムケア」の商品及びサービスが急速に拡大しておりますが、「I T はなびらたけ」の更年期女性に対する有効性が学術的にも証明されたことで、今後は更年期でお悩みの女性をメインターゲットとし、より機能性を重視した商品展開を進める予定です。

また、インタートレードヘルスケアでは、今回の学術論文をベースに機能性表示食品の届出を進める計画であり、引き続き自社独自のブランドキノコである「I T はなびらたけ」の価値向上に注力し、販売力の強化を図る予定です。

※1 サイレント型エストロゲン作用

エストロゲン^{※3}と似た作用を示すが、エストロゲン依存癌細胞の増殖を促進しない化合物の総称。

※2 更年期

更年期は日本産科婦人科学会においては、閉経前後 5 年間と定義されており、更年期においては卵巣機能の低下によるエストロゲンの欠乏に基づくホルモンバランスの崩れにより起こる症候群で、自律神経失調症様の症状（脈が速くなる、動悸がする、血圧が激しく上下するなど）や、ホットフラッシュ（ほてり・のぼせ）、多汗、頭痛、めまい、耳鳴り、腰痛、しびれ、知覚過敏、関節痛や、精神的な症状（不安感やイライラ）など様々な症状を示すことが多い。現在日本では、更年期世代の女性（約 1,500 万人）の多くがエストロゲン欠乏による心身の様々な不調を有していると言われており、更年期女性の 2～3 割が医師により「更年期障害」と診断されている。

※3 エストロゲン

エストロゲン（卵胞ホルモンまたは女性ホルモン）は、ステロイドホルモンの一種で、卵巣の顆粒膜細胞などでコレステロールから作られる。エストロゲンの生理機能は、乳腺細胞の増殖促進、卵巣排卵制御、中枢神経（意識）女性化、動脈硬化抑制などがあるが、まだすべては解明されていない。エストロゲン活性は、様々な生化学的、分子生物学的、細胞生物学的及び生物学的試験法により検定することが可能であり、例えば、リガンド結合試験、レポーター遺伝子試験、遺伝子発現プロファイリング、酵素活性試験、ELISA による抗体試験、細胞増殖試験、微生物・動植物試験などがある。これらの検定法によってエストロゲンと同様の変動が認められる化学物質もエストロゲン様化合物に含むことができる。エストロゲン様化合物はエストロゲンの生理作用や遺伝子に対する影響など、エストロゲンが示す作用のすべてまたは一部を示す化学物質のことであり、内在性エストロゲン、植物エストロゲン、合成エストロゲン、環境エストロゲンなど様々な化合物がこれに含まれる。

【お問い合わせ先】

本研究に関するお問い合わせ先	I R・報道関係者ご照会先
株式会社インタートレード ヘルスケア事業本部 TEL：03-4540-3061 E-mail： sales@itrade.co.jp お問い合わせ先フォーム： https://www.itrade.co.jp/inquiry/	株式会社インタートレード 経営管理部 TEL：03-4540-3002 E-mail： ir@itrade.co.jp お問い合わせ先フォーム： https://www.itrade.co.jp/inquiry/

以上